



RI 会長テーマ

2016~2017 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 藤原 太伸
幹 事 浜田 浩誠



会長指針

チーム大船渡西で

ロータリーを楽しもう

例会記録

5月第4週例会 2017年 5月25日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 31,000円 (報告者 志田成樹会員)
本日出席率 : 56.14% 前回修正後80.70% (メキップ5名) (報告者 志田宏美会員)

★ 会長の時間 藤原太伸会長



今日は、テレビを見ていて障がい者の方を多く雇用している会社がクローズアップされていた番組を見ての、お話しをさせていただきます。

全国にいわゆる障がい者と呼ばれる方は700万人以上いらっしゃるようで、これはあくまでも障がい者手帳を取得されている方の数字で潜在的にはもっといらっしゃる可能性があります。その中で実際に仕事をされている方は1割にも満たないそうです。障がい者の方を企業が受け入れる法定雇用率は現在2%位です。つまり50人の従業員がいる企業なら1名、100人なら2名、1000人なら20名となります。

そのような中で、従業員81人中60人が知的障がい者の方(内27人が重度の障がい者)を雇用している企業があります。(平成28年6月現在)実に70%以上が障がい者の方だそうです。その会社は、神奈川県川崎市にある日本理化学工業(株)というチョークを作っている会社です。ダストレスチョークを作り続けて80年。障がい者雇用を始めて58年だそうです。

どうしてこんなにも多いのかと言うと、きっかけは58年前に特別支援学校の生徒2名の実習を受け入れたことがきっかけで、当時就職できない障がい者の方は、福祉施設に入って生涯を過ごさなくてはならず、せめて一生に1度でも働く経験をさせてあげたいと考えた支援学校の教諭の方が、日本理化学工業(株)様に頼み込んで2週間の実習が実現しました。

作業はチョークの箱のラベル貼りだったそうですが、その作業を楽しそうに一生懸命されている2人の生徒を見て、実習の終わる直前に他の健常者の従業員の方達から、このまま親元を離れて施設に入るのはいかがいそうです。自分達が面倒を見ますから雇ってあげてくださいと言われて、最初は同情から雇用をはじめたそうです。雇用主である大山会長は会社であくせく働くよりも施設でのんびりしていた方がよさそうなものだと、不思議に思われていたのですが、あるとき禅寺の和尚さんにその疑問を問いかけたところ「人間の究極の幸せは人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人から必要とされることの4つ。そのうち愛以外の三つの幸せは、働くことによって得られるものです。福祉施設では味わえません」と言われたそうです。それ以降、日本理化学工業(株)では多くの障がい者の方の雇用に踏み切ったということです。そして中小企業だったからこそ出来たともおっしゃっていました。

人間の究極の幸せは健常者も同じです。このエピソードは働くことは幸せなことだと教えられます。逆に感謝すること、ほめる事で人を幸せにも出来るということでもあります。

我社では、障がい者の方を雇用するのは難しいと思いますが、社員にほめる事・感謝することは出来ます。すべての人が普通に暮らせる社会で大事なことを忘れずに、これから自分自身も生活していきたいと思いました。

2014-2015 年度上野会長の活動方針の中で、障がいのある人も、子供も、高齢者も、被災者も、健常者も、すべての人々が地域社会の一員として尊重され、差別なく共に生きていける共存、共栄、共助の社会であり、

それが当たり前なこと、それがノーマルな社会であり、全ての人々が住みやすい地域社会の構築に向かってお互いの心をバリアフリー化し、住環境もバリアフリー化し「明るく、楽しく、元気よく、そして生き生きと」誰もが、普通に暮らせる環境づくりを目指していきましょう。という言葉
上野会長のテーマ「ノーマライゼーションの推進を」を思い出し、お話しさせて頂きました。 以上。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 ガバナーエレクトと事務所より 地区研修・協議会当日の流れについての連絡が届いています。
- 2 RIより 会員数に関する重要なお知らせが届いています。 詳細は事務局にあり・・・
- 3 RI日本事務局より 6月のロータリーレート 1ドル110円と連絡がありました。

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆



船砥俊昭会員

韓国・南原中央ロータリークラブ
グローバル補助金プロジェクト事業開校式参加報告書

● 1日目

この事業は、海外から南原市に嫁いできた人たちに憩いの場所として提供することを目的とする。
参加者は、濱守ガバナー。松岡さん。船砥の3名でいってまいりました。
大船渡出発は、5月3日朝7時大船渡を出発し仙台空港に10時15分ごろ到着いたしました。その後、手続きを終え12時40分ソウルに向かいました。ソウル仁川空港到着は15時ごろでした。飛行時間は約2時間でした。空港を出まして一般の人が乗るバスにてソウル市内のIPブテックホテルに向いました。ホテル到着は、17時30分でした。

● 2日目

朝7時に出発し、朝ごはんを食べて高速バスターミナルに向かい8時10分のバスで南原に向いました。南原に到着したのは、11時40分ごろでした。南原の方々が6人ほど迎えに来ていました。その後、食堂へと向いました。お昼のメニューはうなぎとなまぎの料理でした。開校式典は15時からとのことで市内を一望できる高台の公園へと案内されました。



公園を14時40分ごろでまして15時式場へ到着いたしました。
式場ではたくさんの方々が向かえてくれました。



施設入口に掲示された看板

いよいよ式典が開催されました。南原市長。濱守ガバナー。地区ガバナー。南原市の議長。中央ロータリークラブ会長などおおくの方々が挨拶をいたしました。通訳の方がいたのですがよくわかりませんでした。式典の時間は約1時間でした



式典終了後、内部見学。それから南原で暮らす外国の方々が作った料理をいただきました。日本人、ベトナム、フィリピン、韓国の方々が作った料理です。お昼にいっぱい食べたのであまり食べられませんでした。調理室



フリースペース お国の料理が沢山並んでいました。



日本人作のお寿司



食事会も終わり、南原中央ロータリークラブの例会に参加するというので例会場へと移動致しました。

例会は事務所で行い、6時30分より約1時間でした。ここでも濱守ガバナーの挨拶がありました。まさか私と、松岡さんにも挨拶と言われ5分程度の挨拶をしてまいりました。



例会終了後、夕食会場へと移動いたしました。その後マッサージへ案内されホテル帰ったのが23時30分ごろだと思います。2日目終了

● 3日目

朝8時30分、朝食会場へと移動。食堂には、たくさんのお客様がおりました。大船渡では考えられないことです。食事終了後、全州韓屋村へと移動いたしました。



ここは南原市から高速道路で1時間かかるところでした。昔作りの建物が沢山ありました。すべての家ではたくさんのお土産を売っていました。私はこんど初めて案内された場所でもありました

12時ごろ昼食会場へと案内されました。

ここでのお昼はすばらしいごちそうでした。一人、日本円で6,000円とっていました。



お昼が終わり南原に近い射撃場へと案内されました。ここでは一人20発の弾を撃つことができました。残念ながら私は一発も当たりませんでした。

その後は南原市にもどり夕食会場へ。 ホテルに帰ったのは、夜の10時ごろだったと思います。3日目終了。

● 4日目

朝7時30分にホテルを出発し朝食会場へ移動。この日もたくさんのお客様が食べていました。8時50分の高速バスでソウルへと向いました。到着後、さかな市場へ移動。お昼と致しました。その後は、ホテルへ移動。自由時間としました。4日目終了

● 5日目

朝6時のリムジーンバスにて仁川空港へ移動。手続き終了後9時30分出発し仙台空港着11時30分。その後、大船渡へと向かい、午後4時ごろ到着し解散いたしました。このたびの南原中央ロータリークラブへの訪問については、すべてうまく終了することができたと思います。我がクラブの皆様の暖かい志をいただき感謝を申し上げます。そしてまた南原中央ロータリークラブの皆様方には、いつものことながら大変なおもてなしをいただき感謝しております。

感謝牌を濱守ガバナーより藤原会長へ

感謝牌

南中路 第2016-2017-9号

国際ロータリー第2520地区

大船渡西ロータリークラブ



国際ロータリー2520地区の大船渡西ロータリークラブは国際ロータリー3670地区の南原中央ロータリークラブと協力し南原市健康・家庭多文化家族支援センターの重点6分野（基本的教育と識字率向上）グローバル補助金事業を推進しながら 献身的支援を惜しまず協助して頂いたことに深く感謝の意を捧げ南原市健康・家庭多文化家族支援センターの竣工式を記念し 全会員の感謝の心を込め感謝牌を捧げます

2017年5月4日

国際ロータリー3670地区

南原中央ロータリークラブ

会長 ユン スンギ